

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子供の育成」



遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～なかよく 明るく つよく正しく～

人権週間

本校では人権週間に合わせて、全校で「お互いの気持ちを大切にする」取組を進めました。その一つが、以前学校だよりでお伝えした「ありがとう風船」です。友達にしてもらってうれしかったことや感謝の気持ちを風船の形に書いて掲示することで、自分の言動が誰かの心を温かくしていることに気付く機会となりました。掲示を見ながら、友達の思いに共感したり、改めて感謝の気持ちをもったりする児童の姿が見られました。



また、生活委員会の5・6年生が、人権について考える動画を作成しました。動画では、ひそひそ話をされる場面など、日常の学校生活の中で起こりがちな出来事を取り上げ、「言われた人はどんな気持ちになるのか」「自分だったらどう感じるか」を考えられる内容になっています。この動画を各学年で視聴し、相手の立場に立って考えることの大切さについて学びました。

これらの取組を通して、児童一人一人が「人権は特別なものではなく、毎日の生活の中にある」ということを実感することができました。これからも、思いやりのある言葉や行動を大切に、誰もが安心して過ごせる学校づくりを進めていきたいと考えています。



生活委員会「人権について考える」動画の一場面

落ち着いたくらし～ミッションカード～

12月の生活目標は、「落ち着いたくらし～チャイムスタート、フロアの過ごし方～」です。2学期のまとめの時期を迎え、改めて本校で大切にしている「時・場・言葉を整える」ことを意識した学校生活を送ってほしいという思いから、この生活目標を設定しました。チャイムを合図に気持ちを切り替えて学習を始めることや、廊下やフロアでの過ごし方を振り返ることは、落ち着いた学習環境づくりにつながります。

この生活目標の達成に向けて、生活委員会が「落ち着いたくらしミッションカード」を作成しました。「チャイムスタートしよう」「フロアを走らない」など、日々の生活の中で意識したい行動がミッションとして示されています。各学級で全員がミッションを達成できると、次のミッションカードに進める仕組みとなっており、学級全体で協力しながら取り組める工夫がされています。

どの学級が、より多くのミッションを達成できるでしょうか。結果だけでなく、学級で声をかけ合い、互いに意識を高め合う過程こそが大切です。12月の取組を通して、落ち着いた生活習慣を身に付け、気持ちよく2学期を締めくくってほしいと願っています。



「ミッションカード」

2年生～町たんけん万ぱく2025～

2年生は生活科「町のすてきみつけ」の学習で、これまでに町たんけんを通して見つけてきたことをまとめ、「町たんけん万ぱく2025」と名付けた発表会を行いました。当日は、見学でお世話になった施設やお店の方、そして保護者の皆様を招待し、学習の成果を発表しました。

発表では、町で働く人の工夫や思い、気付いたすてきなところを、クイズにしたり、画用紙や模造紙で写真やイラストを使って紹介したりするなど、聞いている人が楽しみながら分かるように工夫する姿が見られました。「このお店ではどんな工夫をしているのでしょうか」など、問いかけをしながら発表する姿に、これまでの学びの深まりが感じられました。

また、この発表会には5年生児童も見学に訪れました。上級生が熱心に話を聞いたり、うなずいたりする姿は、2年生にとって大きな励みとなりました。どのグループもととてもはりきって発表し、自分たちの町の魅力を自信をもって伝えることができていました。

今回の発表会を通して、子供たちは町への親しみや感謝の気持ちを一層深めるとともに、相手に分かりやすく伝える力を伸ばすことができました。今後も、地域とつながる学びを大切にしていきたいと考えています。

